

令和6年度塩釜地区防災対策委員会（四機関）合同訓練について

令和6年11月22日（金）、令和6年度塩釜地区防災対策委員会（四機関）合同訓練を実施しました。塩釜地区防災対策委員会は、陸上自衛隊第22即応機動連隊、宮城海上保安部、宮城県塩釜警察署、塩釜地区消防事務組合消防本部の公安機関で構成され、四機関が塩釜地区に集中する全国でも稀有な地域であることから、毎年合同訓練等を各機関が持ち回りにより企画立案し実施しています。合同訓練は今年度で13回目を数え、車両11台、巡視船等3隻、63人が参加し訓練を実施しました。

陸上訓練では現地合同調整所による情報収集を初め、障害物の除去、倒壊した家屋からの救助、交通事故現場の救助や火災消火訓練を行い、各種災害で発生した傷病者を搬送するために応急救護所を設営するなど、各機関の特徴を生かしながら連携し訓練を実施しました。

海上訓練では離島で土砂災害により発生した傷病者や避難者を、本土まで海上保安部の巡視艇2隻が搬送するとの想定の下、陸上自衛隊、警察、消防と共に応急救護所まで協力して搬送する訓練や、巡視船からの給水支援や物資輸送を各機関協力しながら行いました。

今後も引き続き塩釜地区防災対策委員会は、今後発生が懸念される大規模災害時により強固な協力体制を築き地域の皆様の安心・安全に向け、防災機関の連携による防災、減災への取組みを推進してまいります。



救出救助訓練



傷病者海上搬送訓練



物資輸送訓練



閉会式



お問い合わせ

塩釜地区消防事務組合消防本部

警防課消防係 ☎022-361-1620